YCAM 2022–2023

2022年度のYCAMのイベント

山口情報芸術センター［YCAM］では、メディア・テクノロジーを用いた新しい表現の探求を軸に活動を展開しており、これまでもYCAMでしか体験することのできないインスタレーション作品やダンス／演劇作品を多数発表してきました。開館から19年を迎える2022年度も、新作の発表を中心に、映画上映やカンファレンス、子ども向けのワークショップなど多彩なイベントを実施します。こうしたイベントを通じて、地域社会における新たな文化のモデルを構想するとともに、情報化社会における新たなビジョンの創出に繋げていきます。

坂本龍一＋YCAM InterLab《Forest Symphony》
撮影：山中慎太郎（Qsyum!）

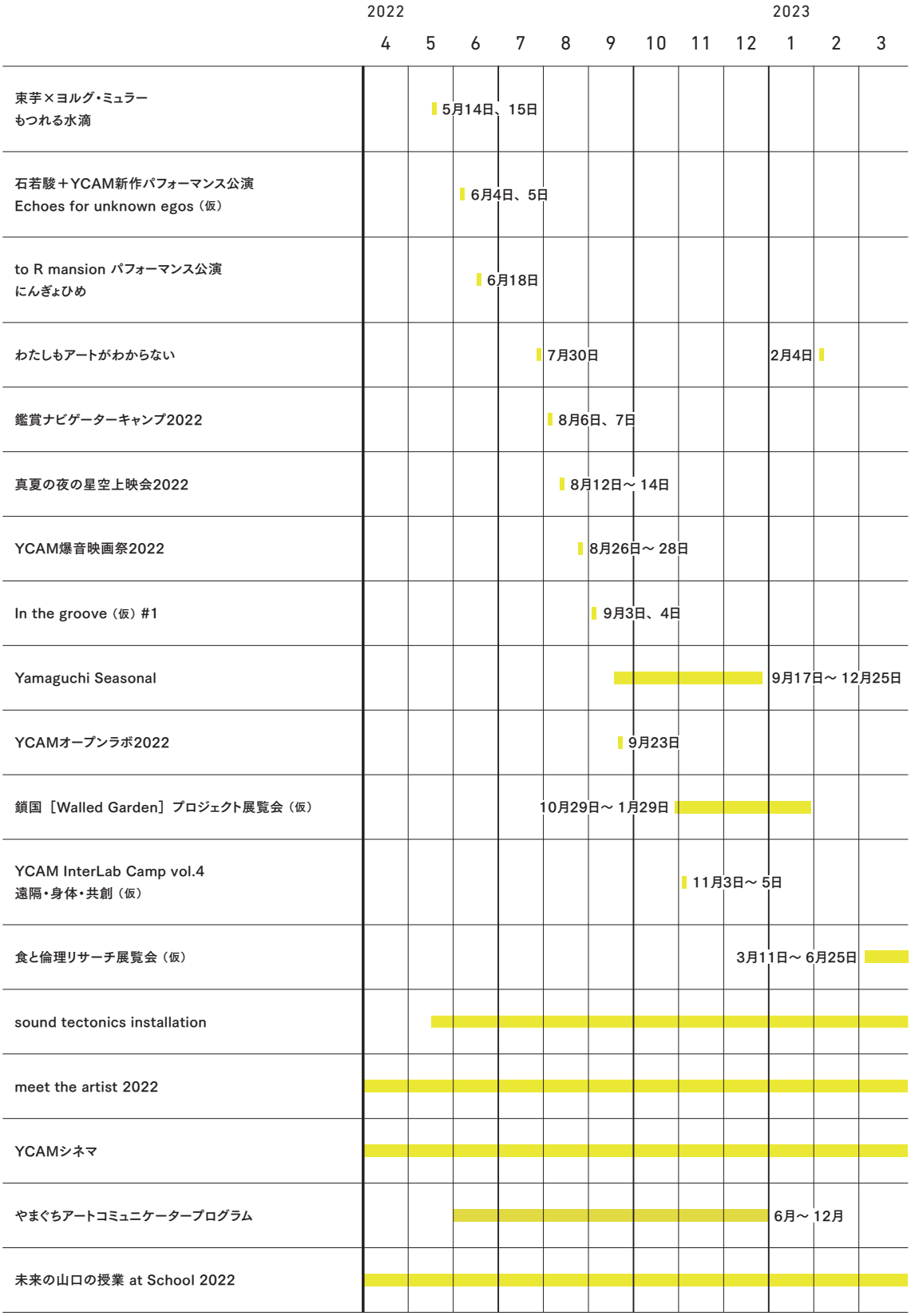
変化を乗りきるために、足下を鍛える

2023年に開館20周年を迎えるYCAMは、その前年にあたる2022年を「変化に対応するための基盤づくり」の年と位置づけました。メディア・テクノロジーがバラ色の未来を示してくれていた20年前と異なり、ある意味では日常的な当たり前の風景として身の回りに存在するメディアが、もう一方では未曾有の事態に対応する社会的セーフティーネット（たとえば人と人とのつながりを維持する手段）として機能する事態となっています。

便利で役立つ技術が、身の回りに日常的に存在する状況だからこそ、その技術と適切な距離を取り、よりよいつき合い方を探る姿勢も忘れない。メディアとはそういう相手でもあり、アートとはそういう思考の回路でもあります。

流動的な状況が続くこの時代だからこそ、文化的価値を創造／発信するための挑戦を忘れず、持続的にそれを展開する安定した基盤の構築の両立を目指して、活動を進めていきます。

山口情報芸術センター［YCAM］
アーティスティック・ディレクター
会田大也


2022
2023
4
5
6
7
8
9
10
11
12
1
2
3
束芋×ヨルグ・ミュラー
もつれる水滴
5月14日、15日
石若駿＋YCAM新作パフォーマンス公演
Echoes for unknown egos（仮）
6月4日、5日
to R mansion パフォーマンス公演
にんぎょひめ
6月18日
わたしもアートがわからない
7月30日
2月4日
鑑賞ナビゲーターキャンプ2022
8月6日、7日
真夏の夜の星空上映会2022
8月12日～ 14日
YCAM爆音映画祭2022
8月26日～ 28日
In the groove（仮）#1
9月3日、4日
Yamaguchi Seasonal
9月17日～ 12月25日
YCAMオープンラボ2022
9月23日
鎖国［Walled Garden］プロジェクト展覧会（仮）
10月29日～ 1月29日
YCAM InterLab Camp vol.4
遠隔・身体・共創（仮）
11月3日～ 5日
食と倫理リサーチ展覧会（仮）
3月11日～ 6月25日
sound tectonics installation
meet the artist 2022
YCAMシネマ
やまぐちアートコミュニケータープログラム
6月～ 12月
未来の山口の授業 at School 2022

EVENTS

2022年度にYCAMで開催するイベントを紹介します。

©watsonstudio

5月14日(土)、15日(日)

日仏共同製作 新作舞台作品
束芋×ヨルグ・ミュラー
もつれる水滴

アニメーション表現と現代サーカスの融合

現代美術家・束芋（たばいも）と、フランスを拠点とするサーカスパフォーマーのヨルグ・ミュラーのコラボレーションによるパフォーマンス作品を発表する公演です。4月に富山で世界初演となる本作では、国内外にて高い評価を受けている束芋のアニメーション映像と、ミュラーによるジャグリングやダンスが融合した新感覚のパフォーマンスを展開します。2人の異なる身体性へのアプローチが、観客の想像力を刺激します。

石若駿 photo by kana tarumi

6月4日(土)、5日(日)

石若駿＋YCAM新作パフォーマンス公演
Echoes for unknown egos(仮)

稀代の打楽器奏者による音楽表現の拡張

ジャンルを超えた幅広い活動で注目を集める打楽器奏者の石若駿とYCAMのコラボレーションによる新作パフォーマンスを発表する公演です。新作のために、石若の演奏パターンをもとに自律的に演奏をおこなうAIと、オリジナルの打楽器を開発。石若に寄り添いながらも、ときに予想外の音を返すさまざまなエージェントと、石若本人の共演を通じて、石若の音楽性の源に光を当てるとともに、その創造を触発しながら新たなステージを目指します。

photo: Chiye NAMEGAI

6月18日（土）

to R mansion パフォーマンス公演
にんぎょひめ

国籍や世代を超えて楽しめる
フィジカルシアター

世界的に人気を博するパフォーマンスカンパニー・to R mansion（トゥーアールマンション）のパフォーマンス作品を上演する公演です。パントマイムや、ダンス、人形、影絵、マジックといったさまざまな表現手法と、「テアトル・ノアール（闇の演劇）」と呼ばれる照明演出法を組み合わせることで、誰もが知っているアンデルセンの童話「人魚姫」を、笑いや驚きとともに、これまでにないかたちで描き出します。

アートってどうみたらいいの？と思ったことがある人へ（2020年）
撮影：谷康弘

vol.2 7月30日（土）
vol.3 2023年2月4日（土）

わたしもアートがわからない

作品の魅力を発見するコツをお伝えします！

芸術作品をより楽しみ、鑑賞を深めるためのイベントです。美術教育の専門家や研究者など、さまざまな背景をもつゲストを講師に迎え、作品鑑賞の際に鑑賞者の中に生まれる「分からない」という感覚を出発点に、作品鑑賞をより楽しいものに変化させるための「コツ」を、レクチャーや作品の鑑賞会などを交えながら伝えます。作品に対して柔軟で幅広い視点を培う方法を参加者同士で共有し、作品と自分、そして他者とのコミュニケーションの場を創り出します。

鑑賞ナビゲーターキャンプ2021 撮影：谷康弘

8月6日（土）、7日（日）

鑑賞ナビゲーターキャンプ 2022

対話型鑑賞を極めるレクチャープログラム

対話を通して芸術作品を鑑賞する手法「対話型鑑賞」のスキルを学ぶイベントです。対話型鑑賞は、作品の鑑賞能力以外にも観察力や思考力、コミュニケーションスキルの向上にも寄与するため、近年、学校教育や医療、ビジネス現場においても注目を集めています。このイベントでは、人間科学と臨床心理学を専門とする伊達隆洋を講師に迎え、対話型鑑賞についてレクチャーやワークショップを通じて学び、さまざまな分野との繋がりや広がりの可能性を模索していきます。

真夏の夜の星空上映会2021 撮影：谷康弘

8月12日（金）～14日（日）

真夏の夜の星空上映会2022

YCAM 夏の風物詩、今年も開催！

隣接する中央公園で開催する毎年恒例の野外上映イベントです。 多彩なジャンルの映画を上映することから、親子連れからお年寄りまで多くの方々が来場し、YCAMの「夏の風物詩」として、大きな賑わいを見せています。2022年も3日間に渡って3本の映画を上映します。

YCAM爆音映画祭2021 撮影：谷康弘

8月26日（金）～28日（日）

YCAM爆音映画祭2022

日本最強の爆音映画祭

YCAMの音響環境を最大限に利用し、繊細な大音響で映画を鑑賞する上映イベントです。爆音映画祭とは、ライブ・コンサート向けの大規模かつ高品質なスピーカーを用いて映画を鑑賞するもので、映画評論家の樋口泰人が国内外で開催している上映イベントです。YCAMでは2013年から毎年開催しており、国内でも最高レベルの音響環境と言われるスタジオAを会場に、毎年工夫に溢れたセッティングで上映を実施。今年も樋口の監修のもと、これまでにない映画体験を創造します。

会場となるスタジオA

9月3日（土）、4日（日）

In the groove（仮）#1

極上の音楽環境を堪能

国内でも最高レベルの音響環境と言われるYCAMのスタジオAで、レコードやCDなどの録音物を聴取するイベントです。ライブ・コンサート用の大規模かつ高品質なスピーカーを用いて、フィールドレコーディングや実験音楽などのテーマに沿って選定された楽曲を再生。一般的な聴取環境では捉えづらい楽曲における繊細な構造や、音楽家が考える音の核心にじっくりと迫っていきます。

坂本龍一＋YCAM InterLab《Forest Symphony》（2020年）
撮影：山中慎太郎（Qsyum!）

9月17日（土）～12月25日（日）

Yamaguchi Seasonal

作品とともに見つける山口の新しい景色

これまでYCAMで制作／発表してきたインスタレーション作品を、山口市の中心市街地や史跡で公開する展覧会です。坂本龍一＋YCAM InterLab《Forest Symphony》を常栄寺雪舟庭で、坂本龍一＋高谷史郎《water state 1》を山口駅前のサテライトAで展示します。

YCAMオープンラボ2019 撮影：谷康弘

9月23日（金・祝）

YCAMオープンラボ2022

これからのYCAMの姿を語り合う

今日におけるアートや研究開発、公共文化施設のあり方を捉え直すトークイベントです。2003年の開館以来、メディア・テクノロジーを用いた新しい表現の探求を軸に多くの作品を発表してきたYCAMは2023年で20周年を迎えます。このイベントでは、20周年を1年後に控えて、さまざまな分野で創造性と公共性について考察してきたゲストを招き、トークやディスカッションを通してこれからのYCAMの姿について構想していきます。

ローレン・マッカーシー《The Changing Room》

10月29日（土）～2023年1月29日（日）

鎖国［Walled Garden］プロジェクト展覧会（仮）

情報とインターネットの現在から未来に触る

YCAMが国内外のさまざまな専門家とおこなってきた研究開発プロジェクト「鎖国［Walled Garden］プロジェクト」の成果を発表する展覧会です。展覧会では、アーティスト／エンジニアのカイル・マクドナルドとローレン・マッカーシーによる「監視資本主義」の先にある未来をテーマとした新作パフォーマンス作品「アンラーニング・ランゲージ（仮）」を発表するほか、ドイツのベルリンを拠点に活躍するアーティストコレクティブのザ・クリティカル・エンジニアリング・ワーキング・グループによるインスタレーションを展示します。

YCAM InterLab Camp vol3：パーソナル・バイオテクノロジー（2019年）
撮影：田邊アツシ

11月3日（木・祝）～5日（土）

YCAM InterLab Camp vol.4
遠隔・身体・共創（仮）

遠隔時代の「身体的つながり」を探る

第一線で活躍する技術者や研究者を迎え、今後のメディアアート作品の制作に使用されるツールについて紹介し、国内外の参加者とともに学ぶ集中ワークショップ・シリーズの第4弾です。今回は「遠隔・身体・共創」をテーマに開催します。人が集まり、触れあうことの意味が根底から揺るがされている現在。哲学や福祉、エンジニアリングなどさまざまな領域の専門家を招いて、テクノロジーの発達によって変化する身体的なつながりをテーマに、レクチャーやワークショップなどを開催し、社会への応用可能性について考えます。

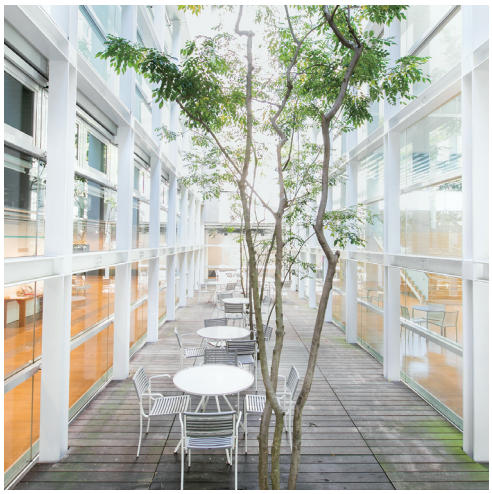
バクダパン・フード・スタディ・グループ《Please Eat Wildly》
Courtesy of Bakudapan Food Study Group

2023年3月11日（土）～6月25日（日）

食と倫理リサーチ展覧会（仮）

あなたの知らない「食」の現在地

料理人でアーティストの岩間朝子と、インドネシアを拠点に活動するコレクティブ、バクダパン・フード・スタディ・グループによる展覧会です。「食」とそれを取り巻く倫理的側面との関係について調査研究するプロジェクト「食と倫理リサーチ」の一環として開催します。本展では、2021年から実施してきたリサーチの内容を踏まえて、岩間とバクダパンによるインスタレーション作品を発表するとともに、ディナー形式のパフォーマンス作品やワークショップを開催します。


会場となる中庭 撮影：勝村祐紀

5月～（期間中2回作品を紹介）

sound tectonics installation

新たなサウンド表現に挑戦

館内の中庭でサウンドインスタレーション作品を展示する展覧会シリーズです。YCAMでは開館以来、サウンドアートや音楽など音に関する取り組みを展開しており、コンサートのほかにサウンドインスタレーション作品の展示もおこなってきました。この展覧会の会場となる中庭は、ホワイエに面し、ガラスの吹き抜けが心地よい佇まいが特徴の空間で、床下にはサウンドシステムが設置されています。足下からわき出してくるような聴覚体験を活用した新たなサウンドインスタレーションを2作品紹介します。

山口市内の空き家 撮影：谷康弘

通年

meet the artist 2022

最小の文化施設のかたちを探る

有志の参加者（市民コラボレーター）が1年間に渡ってクリエイティブな活動をおこなう長期ワークショップです。11年ぶり7回目となる今回のテーマは「空間」。山口市内の空き家を1年間かけて緩やかに解体し、その過程でさまざまな形態の公共空間を一時的に創出。そこで多数のイベントを開催することで、メディアとしての「公共空間」を自らの手で生み出すことの可能性や、社会における文化施設のあり方を模索します。

会場となるスタジオC 撮影：勝村祐紀

通年｜水～日曜日、祝日を中心に開催

YCAMシネマ

古典から最新作まで幅広く上映

国内外の優れた映画を選定し、上映しています。会場となるスタジオCは、35mmフィルムからデジタル上映まで幅広い上映素材に対応した上映機材を備え、鮮明なデジタル作品だけではなく、今や上映機会の少なくなったフィルム作品も鑑賞できます。映画をきっかけにメディア・テクノロジーを用いた表現のエッセンスの一端に触れられるよう、今年も古典から最新作まで幅広い時代かつ、さまざまなジャンルの映画の上映をおこないます。また上映に合わせて、監督や出演者らのトークイベントも随時開催します。

やまぐちアートコミュニケーター（2021年）撮影：塩見浩介

2022年6月〜12月

やまぐちアートコミュニケータープログラム

アートや学びに関するイベントのノウハウを身につけよう

アートや学びに関するイベントの企画制作に携わる人材を育成する長期間のプログラムです。このプログラムは、公募で集まった市民を対象に実施するもので、イベントの企画制作に必要な「観る力」「面白がれる力」を、期間中におこなわれる研修を通じて習得。最終的にはそれをもとに、開催中の展覧会「Yamaguchi Seasonal」などにまつわるツアー形式の鑑賞イベントやワークショップなどのイベントの企画／制作を参加者主体でおこないます。

生雲小学校での実施の様子（2021年） 撮影：塩見浩介

通年

未来の山口の授業 at School 2022

「学びのプラットフォーム」としてのYCAM

YCAMが開発した教育プログラムを山口市内の小中学校で実施するプロジェクトです。山口市教育委員会と共同で実施する「やまぐち子ども未来型学習プロジェクト」の一環として、ファブラボ山口の協力のもと、山口市内の小中学校で、YCAMが開発した教育プログラムを実施するとともに、学校教員向けの研修を開催します。情報を分かりやすく発信／伝達する能力や、プログラミング的思考などの能力を育み、これからの社会を担う人材の育成につなげていきます。

ACCESS

山口情報芸術センター［YCAM］

〒753-0075 山口県山口市中園町7-7
TEL: 083-901-2222
information@ycam.jp
www.ycam.jp

開館時間
10:00 ～ 20:00（イベント開催時は22:00閉館）

休館日
火曜日（火曜日が祝日の場合は翌日）
年末年始（12月29日～ 2023年1月3日）
臨時休館日（4月28日、2023年3月1日～ 3日、6日、8日、9日）

アクセス

山口宇部空港から

バス（宇部市営バス）
約30分、「新山口駅」下車／以降は「JR新山口駅から」を参照

JR新山口駅から

JR山口線に乗り湯田温泉駅で下車（18分）
徒歩25分／タクシー 5分

JR山口線に乗り山口駅で下車（20分）
徒歩25分／タクシー 5分／バス（防長交通／中国JRバス／山口市コミュニティバス）約10分、
「情報芸術センター前」下車すぐ

バス（防長交通／中国JRバス）
約30分、「情報芸術センター前」下車すぐ

お車でのご利用

山陽自動車道（広島方面）から
防府東ICから約30分

中国自動車道（福岡方面）から
小郡ICから約25分
湯田温泉スマートICから約12分